



Title	故 松岡孝兒博士略歴
Citation	北海道大學 經濟學研究, 12, 127-136
Issue Date	1957
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/31037
Type	bulletin (article)
File Information	12_P127-136.pdf



[Instructions for use](#)

故 松岡孝兒博士略歴

明治二十六年 十一月十六日 北海道古宇郡泊村に生る

三十九年 四月 旭川中学校入学

四十年 七月 仙台陸軍幼年学校入学

大正三年 五月 陸軍士官学校卒業

十二月 陸軍歩兵少尉

四年 十月 依願休職

五年 四月 東京外国語学校仏語科入学

七年 三月 同校卒業

八年 九月 京都帝国大学経済学部選科入学

十年 四月 〃 本科入学

十二年 三月 経済学士試験合格

五月 京都帝国大学経済学部助手

十四年 十一月 東原君代と結婚

昭和三年 四月 京都帝国大学経済学部講師

故 松岡孝児博士略歴

昭和五年 一月 妻君代死去

九年 二月 京都帝国大学助教

十一年 九月十月 満洲国及び中華民国へ出張

十二年 十月 応 召

十三年 九月 陸軍歩兵中尉

十四年 二月 著書「金替為本位制の研究」により経済学博士の学位を受く

十一月 召集解除

十五年 一月 京都帝国大学教授

十六年 一—三月 中華民国へ出張

十二月 泰国及び仏領印度支那へ出張

二十一年 五月 依願免本官

九月 公職不適格者に指定さる

二十五年 十月 〃 の指定を解除さる

二十六年 四月 丸紅株式会社調査事務嘱託

二十八年 三月 同社嘱託辞任

七月 北海道大学教授

三十一年 十二月十四日 京都大学附属病院において死去、享年六十三。

故 松岡孝兒博士著書論文目録

(1) 著 書

ラコムプ著 景氣予測法の研究	有斐閣	昭六・五・二八
金問題研究	有斐閣	昭八・二・七
金為替本位制の研究	日本評論社	昭一・六・二五
アフタリヨン著 貨幣・物価・為替論	有斐閣	昭二・八・三一
Etalon de change or au Japon	日仏協会	昭一四・一・一
仏領印度支那の幣制と金融事情	東亜研究所	昭一七・二・七
アンドレ・ピアティエ著 戦争経済学	三省堂	昭一八・七・一〇
Les grands penseurs français ——Saint-Simon, Fourier, Louis Blanc——	白水社	昭二六・四・一五
ジャン・フーラスチエ著 一九六〇年の世界	白水社	昭二七・二・一〇
アルフレット・ソーヴィー著 経済観測	白水社	昭二八・九・五
シャルル・ローブカン著 岡田徳一共訳 仏印経済発展論	有斐閣	昭三〇・九・三〇
アンドレ・トゥーゼー著 印度貨幣制度の研究	有斐閣	昭三一・五・一

編集

(2) 論 文

	掲載誌	巻号	刊行年月
パレット氏を憶う	経済論叢	一八・六	大二三・六
パンタレオニ氏業績の回顧	〃	二一・一	大一四・一一
合衆国に於ける労働銀行に就いて	〃	二二・三	大五・三
伊太利のリラ貨引上策について	〃	二四・三	昭二・三
パンタレオニ氏と経済学基礎概念	〃	二四・四	〃
貨幣数量説への一考察	〃	二七・二	昭三・八
ベルギー国立銀行制度改正に就いて	〃	二七・三	九
イタリヤに於ける貯蓄銀行制度改正に就いて	〃	二七・五	一一
フランスの新貨幣制度に就いて	〃	二八・四	昭四・四
ギリシヤの新発券銀行に就いて	〃	二八・五	五
輓近フランス経済学界の傾向	〃	二九・一	七
フランスに於ける庶民銀行に就いて	〃	三〇・二	昭五・二
フランスに於ける景気変動予測論	〃	三二・一	昭六・一
金為替準備に就いて	〃	三二・三	三
金を繞ぐる英仏の論争	経営と経済	一・六	六
金問題 批判	経済論叢	三三・二	八
金数量説に就いて (上)	〃	三三・四	一〇

	掲載誌	巻号	刊行年月
中央銀行兌換準備檢討 (山本博士選歴記念論文集)	經濟論叢	三八・一	昭九・一
ブウニヤテイアンと新信用理論	〃	三八・三	三
レスキヌウルの長期的景氣變動論	〃	三八・四	四
植民地貨幣制度より見たる金為替準備	〃	三九・一	七
金物価と貨幣価値安定	〃	三九・二	八
金為替本位様式の展開に就いて	〃	三九・三	九
世界大戦前に於ける英領印度の金為替本位に就いて	〃	三九・四	一〇
世界大戦前に於ける北米合衆国の金為替本位に就いて	經濟史研究	一二・四	一〇
将来の通貨制度	通貨制度研究会報告第一輯		
フランス・フランに就いて	經濟論叢	四〇・一	昭一〇・一
フランス独立償還金庫に就いて	〃	四〇・二	二
ミロオの金なき國際交換決済制に就いて	〃	四〇・三	三
フランスに於ける平価切下論に就いて	〃	四〇・六	六
ベルギー・フランの切下に就いて	〃	四一・一	七
フランス帝國經濟會議	〃	四一・二	八
日本に於ける金為替本位制の濫觴 (上)	〃	四一・四	一〇
日本に於ける金為替本位制の濫觴 (下)	〃	四一・五	一一

朝鮮に於ける金為替本位制
 支那の幣制改革と其の意義
 フランスに於ける通貨構成變動の意義
 世界大戦前の日本、朝鮮及び満洲の金為替本位制
 北支日系通貨に就いて
 アフタリヨンの貨幣心理説に就いて
 法幣インフレーションに就いて
 戦争經濟に關する一主張
 仏印幣制論
 ボオル・ベルナルの仏印工業化論
 仏印に於ける信用と其の性格
 仏印國際貸借に關する一考察
 最近仏領印度支那幣制に於ける二つの改革
 仏印に於ける信用対策に就いて
 仏印に於ける貯蓄及び資本に就いて
 ガエタン・ピルウの仏印ピヤストル論
 仏印に於ける協同組合に就いて
 最近に於ける仏印經濟の再編成に就いて

	四一・六		一一
	四二・一		一
	四二・四		四
	四三・一		七
	四四・一	昭二・	一
	四四・五		五
	五一・五	昭一五・	一
	五二・三	昭一六・	三
	五二・六		六
	五三・三		九
	一・四		二
東亜經濟論叢	五四・一	昭一七・	一
經濟論叢	二・一		三
東亜經濟論叢	五四・五		五
〃	五五・一		七
日仏文化	新第八輯		七
東亜經濟論叢	二・三		九
經濟論叢	五五・五		一一

故 松岡孝児博士著書論文目録

	掲載誌	巻号	刊行年月
再組織下にある最近の仏印経済	東亜経済論叢	二・四	昭一七・一二
最近仏印ピアストルの動向に就いて	日仏文化	新第九輯	昭一九・四
新金為替本位制から見たポンド切下	国民経済	四・一一	昭二四・一一
インフレーションへの一考察	銀行及金融	二	昭二五・一
金の再評価と世界経済	国民経済	五・四	四
最近に於ける世界金問題	銀行及金融	六	六
フランスは金本位に復帰するか	バンキング	二五	七七
投資についての一考察	〃	二八	八
所得説と数量説の異同 —アフタリヨンを中心として—	〃	九八	昭三一・四

③ Articles

- On the Quantity Theory of Gold. *Kyoto University Economic Review*. Vol. 9, No. 1. 1934.
- An Early History of the Gold Exchange Standard in Japan. *K. U. Eco. Rev.* Vol. 10, No. 2. 1935.
- China's Currency Reform and its Significance. *K. U. Eco. Rev.* Vol. 11, No. 1. 1936.
- Die Abwertung des japanischen Yen. *Weltwirtschaftliches Archiv*. Januar, 1936.
- La genèse d'un étalon monétaire fondé sur le change-or : Le cas du Japon.
Annales d'histoire économique et sociale, décembre, 1936.
- L'origine de l'étalon de change-or en Corée. *Revue économique internationale*, décembre, 1936.

- On Japanese Currencies Circulating in North China. *K. U. Eco. Rev.* Vol. 12, No. 1. 1937.
- The Expansion and Consolidation of the Japanese Gold Exchange Standard System. *K. U. Eco. Rev.* Vol. 12, No. 2. 1937.
- The Inflation of Chinese Legal Tender. *K. U. Eco. Rev.* Vol. 16, No. 2. 1941.
- The Currency System in French Indo-China. *K. U. Eco. Rev.* Vol. 17, No. 2. 1942.
- Southern Economy: Its Currency and Financial Problems. *K. U. Eco. Rev.* Vol. 17, No. 4. 1942.

執筆者紹介

高倉 新一郎（追悼の言葉） 北海道大学経済学部長

桑原 晋 北海道大学教授

大橋 隆憲 京都大学助教授

田中生夫 岡山大学助教授

酒井一夫 北海道大学助教授